

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

東邦亜鉛株式会社 契島製錬所

(2) 事業所の所在地

豊田郡大崎上島町東野 5 5 6 2 -1

(3) 業種

2 3 1 9 その他の非鉄金属 1 次精錬・精製業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は平成 1 9 年度を基準年度とし、平成 2 8 年度から平成 3 2 年度までの 5 年間とする。

3 計画の基本的な方向

環境理念

東邦亜鉛グループは、地球環境保全への取り組みを重要な経営課題として捉え、責任ある企業市民として将来にわたって住みよい社会を形成するために地域社会と良好なコミュニケーションを保ち、環境負荷低減、地球温暖化防止、および生物多様性の保全等の環境改善活動に取り組みます。

環境方針

1. 環境マネジメントシステムを運用して、環境目的、目標を定め、さらに定期的見直しによって継続的な環境保全に努めます。
2. 環境関連法規に加え自主管理基準を遵守し、環境汚染の防止をはかります。
3. 事業活動が地域社会に及ぼす影響を認識し、全従業員の環境保全意識向上のために、労使ともに相互信頼と責任を持って、環境教育、啓蒙活動を行います。
4. 限りある資源の有効利用と環境負荷低減、地球温暖化防止、および生物多様性の保全に努めます。
5. この環境方針を東邦亜鉛グループ全従業員に周知するとともに、一般にも公開します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度 平成19年度	直近年度 平成28年度
二酸化炭素	36,660	45,664

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度 平成19年度	直近年度 平成28年度
二酸化炭素	79,720	66,103

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度 平成27年度	直近年度 平成28年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成8年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位置 (kl)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	36,660	99	370	5	34,672	98.5	330
非エネルギー起源CO ₂	79,720	99	805	5	75,353	98.5	765
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	116,380	99	1,175	5	110,025	98.5	1,095
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	37,084	99	375	5	35066	98.5	356

目標設定の考え方	エネルギー消費原単位として原単位ベース年1%の削減率
----------	----------------------------

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料原単位の削減	重油の原単位10%削減 コークスの原単位10%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・熱交換器による廃熱の利用 ・適正空気比率の見直し ・酸素付加によるCO₂率の削減 ・ネットワーク管理による操業効率向上
2	電気原単位の維持	電気原単位目標 667kWh/t	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理 ・昼休憩時の消灯の徹底 ・高効率照明器具への更新
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

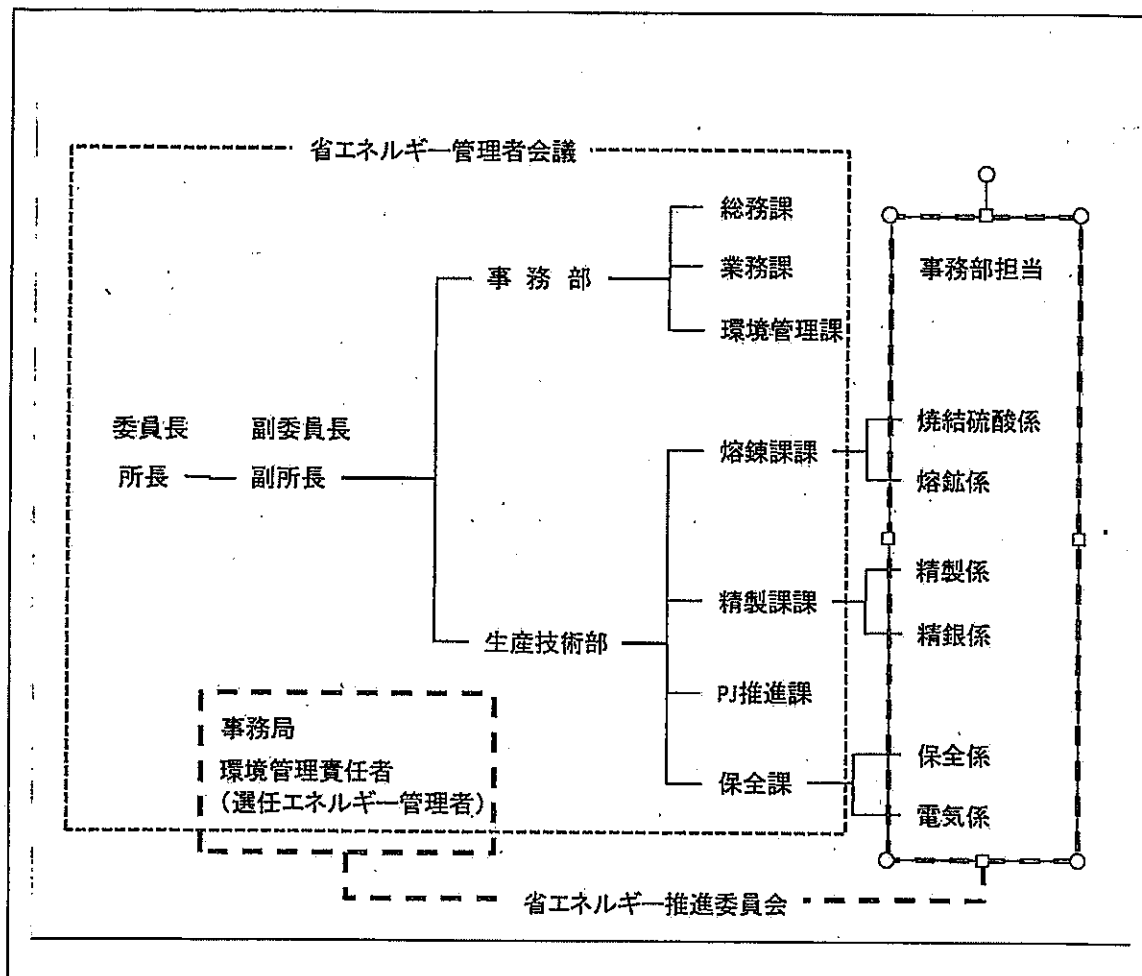
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

選任エネルギー管理者を中心として、省エネルギー推進委員会にて定期的な温室効果ガス削減計画の取組状況の把握と問題点の検討を行い、省エネルギー管理者会議にて評価・見直しを行うことで、省エネ及び温室効果ガス削減活動を継続的に推進する。

(3) 計画書等の公表

契島製錬所、備え付けによる閲覧

東邦亜鉛(株)ホームページでの環境報告書の掲載